

8. 近畿（地域別調査機関：株式会社りそな総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (近畿)		百貨店（マネージャー）	・季節の変化が暦どおりとなり、気候も良い。夏は猛暑になるとの予報で、季節商材の動きに期待している。株価や国際情勢もマイナス要素が改善しつつあるため、今後も景気は緩やかな上昇傾向を維持していく。
		コンビニ（経営者）	・アイスコーヒーと共に冷たい飲料水の需要が増え、冷麺も最盛期に入るため、売上増となる。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・京都では、民間のゲストハウスの認定など、景気の良くなる政策が出てくる。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・新商品を大々的にセールスする予定であり、その売上を見込んでいる。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・5月の連休時の帰省に伴い、手土産などの売上増を期待している。
		百貨店（企画担当）	・インバウンド売上については、急激な増加傾向が一巡すると予想していたが、現状を勘案すると、今年の秋頃までは増加傾向が続きそうである。国内売上が極端に悪化しない限りは、当面は増加傾向が続く。
		百貨店（営業担当）	・高所得の優良固定客においては、高級ブランド品や美術品を更に買い求める傾向が当面は継続する。
		百貨店（宣伝担当）	・インバウンド売上の維持、拡大に向けた施策を仕掛けているほか、国内の個人消費も賃上げ効果で活性化する。また、今夏は猛暑の予報が出ており、クールスポットとしての入店増も期待できる。
		百貨店（外商担当）	・富裕層の購買意欲の要素となる、株価の安定が今後も予想されるほか、夏に向けての新商材やイベントが予定されており、売上増が見込まれる。
		スーパー（店員）	・ゴールデンウィークでパーベキュー関係が売れる。また、気温が上がれば、果物も単価の高いスイカやメロンがよく売れる。
		スーパー（店員）	・暖かくなってきて、梅雨に入る前にパーベキューに出掛ける人も多くなるので、天候が良ければ、景気も少しは良くなる。
		コンビニ（経営者）	・夏に向けて、ドリンク類の高単価な新製品が発売される予定である。また、その他にも単価の高い商品の売上好調が予想され、客単価の押し上げにつながる。
		コンビニ（店員）	・夏が近づけば、飲料や冷たい商材が売れ出す。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・スーツのオーダーに加えて、プラスアルファでシャツやネクタイを購入する客が増えている。
		家電量販店（店員）	・ゴールデンウィークの需要があるほか、暑くなればエアコンや冷蔵庫などの白物家電の販売量も増えるため、景気は上向きになる。
		家電量販店（企画担当）	・北朝鮮の核実験停止の表明などによる安心感から、消費にも前向きとなり、景気にはプラスの影響が出る。
		家電量販店（人事担当）	・梅雨に入る頃には、気温の上昇に伴い、エアコンを中心とした季節商材の買換えが見込まれる。今年は猛暑になるとの予測もあり、売上は前年を超えそうである。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・夏に備えて、日焼け止め商品が動き始めている。それに伴い、単価の高い商品も売れ始めているため、景気は良くなる。
		一般レストラン（企画）	・通常はこれだけ客単価が上がると、来客数は減少するものであるが、最近の傾向では減少はみられない。逆に、来客数は僅かながら増加傾向にある。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・気温が徐々に上がり始めているので、来客数が増加し、売上も増えつつある。
	観光型ホテル（経営者）	・近くの施設がリニューアルオープンしたため、旅行代理店経由での客の増加が期待できる。	
	都市型ホテル（管理担当）	・北朝鮮問題も落ち着きつつあるなど、懸念されていた問題が解決されつつある。	
	旅行代理店（役員）	・夏場の最繁忙期の傾向として、家族旅行が全体に占める割合が年々上昇している。	
	タクシー運転手	・インバウンド効果で経済は良くなっているが、内需は不透明である。今後は内需が活性化するような政策も必要である。	
	タクシー運転手	・今後は有名な祭りなどの大きな行事があるため、少し良くなる。	
	通信会社（経営者）	・株価の回復基調に期待している。	
	通信会社（社員）	・本格的な景気回復の兆しが地方でもみられる。北朝鮮情勢などの不安要素が解消されることに期待したい。	

競輪場（職員）	・ゴールデンウィーク期間に入り、特別競輪を開催するため、客単価が上がる。
競艇場（職員）	・全国発売のSG競走やG1競走などでは、電話投票の売上が伸びており、今後も上昇傾向が見込まれる。
その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージでは服を脱ぐため、寒い時期よりも暖かい時期の方が来客数は増える。
その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・入会者が、退会予定の生徒数を若干上回っている。
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・人手不足が顕著になるにつれて、雇用環境の改善が進むことで、中長期的に消費が前向きになってくる。マンションの購入意欲は一定のレベルで推移しているが、今後は消費税率の引上げに向けて緩やかに伸びてくる。
その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・春の賃金のベースアップもゼロではない様子のため、所得の底上げに期待している。
商店街（代表者）	・従来の客による来店頻度が減っている。
一般小売店〔衣服〕（経営者）	・現状のまま推移すれば、前年の水準は何とか維持できるが、更に伸びる要素は見当たらない。
一般小売店〔時計〕（経営者）	・特に目玉となる商品や、話題になる商品もないため、現状の維持が精一杯である。時計の所有を楽しむ習慣はいつの間になくなり、気持ちや予算の余裕もないため、景気が良くなる要素は全くない。
一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・物価は上昇しているが、一般の小売店はなかなか価格を上げることができていない。牛肉の相場も高騰しており、今後の見通しも厳しい。
一般小売店〔野菜〕（店長）	・今の流れでいくと、政治は落ち着かず、株価の低迷も始まっているため、景気が良くなる雰囲気は全く感じられない。
百貨店（売場主任）	・食料品などの値上げで消費者の財布のひもが固くなるなど、若干の不安要素はあるものの、現在の景況感が続く。
百貨店（売場主任）	・客のランチでの会話でも、仮想通貨などが話題となっているが、今のところは資産が増えて、散財するといった派手な動きはない。平昌オリンピックの頃には楽しそうに買物をする姿がみられたが、それ以降、客の購買意欲は横ばいで推移している。
百貨店（売場主任）	・消費者の所得が大きく伸びないなか、消費が良くなる要因は気温などの外的要因に頼る部分が多い。ただし、夏は冬と異なり、気温の影響を受けるファッション商材は限定されるほか、単価も低いために効果が薄い。現状は景気の良くなる要因が見当たらない。
百貨店（売場主任）	・来客数は変わっていないが、客単価が若干落ちていることが懸念材料である。
百貨店（営業担当）	・富裕層やインバウンドによる高額品の購買の好調と、中間層のモノに対する購買意欲の伸び悩みが継続する。
百貨店（営業担当）	・衣料品や装飾品の消費は増えず、売上が増加することはないが、食品を含む身の回り品への消費はなかなかレベルを下げられないため、毎日の買物での客単価は逆に上がってきている。以前との価値観の違いはあるが、消費に関しては堅調に推移する。
百貨店（サービス担当）	・インバウンド効果は今後も継続する見込みである。インバウンド向けの優待などが規制されるようで、若干影響があると予想されるが、全体的な動きは変わらない。催事などを更に強化することで、売上の確保を図る。
百貨店（商品担当）	・都市部の店舗以外はインバウンドの効果が薄く、株高による高額品の好調にも持続性に疑問があるため、先行きが明るいとはいえない。また、気象庁による今夏の猛暑予想も、プラスの影響よりも、来客数へのダメージの方が気掛かりである。
百貨店（マネージャー）	・懸念材料であった北朝鮮問題や、米国と中国の貿易戦争などのリスクが後退したのを受け、為替相場も円安傾向にある。今後本格化する各社の決算発表も、恐らく好決算となるため、引き続き富裕層の消費は堅調な推移が期待される。一方、国内の中間層においては、消費回復の起爆剤となる要素が見当たらず、引き続き低迷することが予想される。
百貨店（販売推進担当）	・今夏はやはり猛暑の予報である。夏物衣料は早い時期にクリアランスに入るが、盛夏商材や初秋商材で、いかに販売量を確保できるかが鍵となる。ただし、メーカーが生産量を抑えることが予想され、他社との競合がより一層激しくなるため、現状からの大幅な改善はない。
百貨店（マネージャー）	・賃上げ率が前年比で2.1%にとどまるなか、消費者の体感としては、身近な食料品や外食などの値上がりが大いいため、根強い節約志向は続く。

百貨店（売場マネージャー）	・北朝鮮問題は、Jアラートが発動された前年に比べると、良い方向に向かっている。国内政治が安定し、株価が高止まりするようであれば、前年並みの水準は確保できそうである。
百貨店（営業企画）	・企業業績は好調で、為替は円安傾向、株価も回復傾向にある。米国と中国の貿易問題の影響も限定的である。国内政治は混乱しているが、経済のトレンドは悪くない。ただし、消費者の節約志向は根強く、ファッション関連の販売額は低迷していることから、先行きはやや懐疑的である。
スーパー（経営者）	・全体として、指標となる数値の動きは変わらないが、2極化は進む一方である。
スーパー（店長）	・メリハリ消費により、日々の生活必需品はなるべく節約する傾向に変化はない。
スーパー（店長）	・当店は改装効果で好調であるが、全店ベースでは悪く、楽観視できない。
スーパー（店長）	・現在も厳しい状況であるが、大きな環境変化もないため、傾向は変わらない。
スーパー（企画担当）	・今後も、売上は前年比93%前後で推移していく。
スーパー（経理担当）	・海外からの観光客が増えることで、街全体の商売や人の動きが活発化している。にぎわいが増えれば、消費マインドにも好影響を与える。
スーパー（社員）	・衣料品や生活関連品は、専門店との競争で不振が続いているが、客の購買意欲は堅調であり、特に食品部門の販売額は前年比でプラスが続いている。当面、この傾向は大きく変わらない。
スーパー（管理担当）	・小売業界では人手不足で人件費が高騰しているほか、原材料価格の高騰も懸念材料である。
スーパー（開発担当）	・春闘での賃金アップの効果は見込めず、中小企業の多い関西は厳しくなりそうである。
コンビニ（店長）	・来客数の減少は長期的に続きそうであるが、2～3か月の短期でみれば余り変わらない。人口減少の影響が、徐々に売上に及んでくると心配している。
コンビニ（店員）	・夏休みになれば旅行者が増えるため、来客数も増加する。
コンビニ（広告担当）	・昨今は政治や世界情勢に安定感がなくなっているが、国内景気への影響が目される。ただし、影響があったとしても、日々の生活にまで及んでくるのは、まだ先である。
コンビニ（店員）	・景気が上向き要素はなく、現状維持が予想される。
衣料品専門店（店長）	・大手企業と同じく、中小企業の賃金アップの話も聞かれない。
家電量販店（経営者）	・所得の増える要素が身の回りでは見当たらない。年金生活者の購買意欲を高めるような施策が望まれる。
乗用車販売店（経営者）	・個人消費は依然として低位安定が続いている。
乗用車販売店（経営者）	・定例の仕事以外は変わったことがない。板金関連の注文が増えたが、偶発的な動きだと判断される。
乗用車販売店（営業担当）	・秋までは新型車やマイナーチェンジの発表がないため、状況は大きく変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・今の受注状況では、それほど期待はもてない。
その他専門店 [食品]（経営者）	・特に大きな要因はないが、ゴールデンウィークの人の動きに左右される。
その他専門店 [宝石]（経営者）	・政権の支持率が非常に低くなっている。今後は米国との貿易問題を含め、海外と国内政治の状況次第で株価が大きく変動するため、今後注意していく必要がある。
その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・季節商材の衣料品が動くにつれて、装飾品などの購入機会も多少は増えるものの、宝飾品やジュエリーではなく、イミテーションのアクセサリーの購入で止まってしまう客が多い。
その他小売 [インターネット通販]（企画担当）	・政治の先行き不透明感に加え、来年に予定されている消費税増税も、次第に意識されてくる。
高級レストラン（スタッフ）	・夏休みまでは、ほぼ現状維持で推移する。
高級レストラン（企画）	・インバウンドの団体客など、宿泊の先行予約は好調であるが、婚礼を中心とした宴会需要が、前年と比べて減少している。
一般レストラン（経理担当）	・将来が明るくなるような材料はない。拉致問題に解決の糸口でも出てくれば、少しは国内景気の雰囲気も明るくなる。
その他飲食 [自動販売機（飲料）]（管理担当）	・変化が起きるような大きな要素がない。

観光型旅館（経営者）	・先行きも引き続き動きが悪く、しかも直前予約が増えている。
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊部門では、値上げ後も客足の動きは特に変わっていないが、宴会部門の動きが悪くなっている。これからの伸びに期待したいが、動きが遅い。食堂部門はWeb経由の予約が順調で、前年比でプラスとなる見込みである。
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は不透明ながら、インバウンドを中心に先行予約が入っている。宴会も予約状況が良いほか、企業向けの研修も増えている。
都市型ホテル（管理担当）	・アジアからのインバウンドに代わる、大きな需要が見いだせない。
都市型ホテル（客室担当）	・2～3か月先の予約状況は前年比で90%となっているが、オンラインの旅行代理店からの予約が間際化しているため、日が近づくにつれて伸びてくる。
都市型ホテル（総務担当）	・今後の客室予約数をみると、6月は前年を上回っているものの、5月と7月は前年を下回っている。
旅行代理店（支店長）	・夏休みの旅行申込みの出足が、前年と比べて芳しくない。大きなイベントや施設の開業効果もないため、景況感はそのほど変わらない。
タクシー運転手	・荷動きやトラックの動きのほか、道の混雑具合をみても、忙しい状況が続いている。よほどの変化がない限り、このままの状態が続くため、今後の連休の動きもふだんと変わらない。
タクシー運転手	・一般客の利用や、企業関係の予約などにも、余り大きな変化はみられない。
テーマパーク（職員）	・デフレにならない政策をどこまで実現できるかが重要である。国の安全の根幹は経済の安定であり、とにかくそれを目指してもらいたい。
観光名所（企画担当）	・インバウンド客については、特にアジア情勢に問題がなければ見込みは立つが、国内客の集客はなかなか難しく、対策を検討しているところである。
遊園地（経営者）	・利用者数は順調に推移しているが、客単価が伸びない。要因は様々であるが、消費に慎重な様子が見受けられ、景気動向としては一進一退という印象である。
その他レジャー施設 [イベントホール] （職員）	・雇用環境が良くなっている一方、物価も徐々に上昇しているため、先行きの不安はぬぐえない。
その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・プロ野球の交流戦のほか、家族向けのイベント、人気歌手のコンサートなどが開催されるため、多くの来場者を予想している。
その他サービス [ビデオ・CDレンタル] （エリア担当）	・不振店の改装のほか、移転に伴い、本を中心としたブックカフェなどの新業態の出店に重点を置いている。
住宅販売会社（経営者）	・しばらくは今の好調が持続すると予想しているが、これ以上良くなるためには、中小零細企業の業績が伸びなければ無理である。
住宅販売会社（経営者）	・客の動きが大きく変わる要素はない。
住宅販売会社（総務担当）	・富裕層のこだわりの仕様が、低価格帯の物件にも増えている。高額物件との価格差から、契約に時間を要するケースが多くなっている。
その他住宅 [展示場] （従業員）	・消費税率の引上げに伴う需要を先取りした動きが、4月以降は出てくると思っていたが、客の動きが予想以上に鈍いことが気になる。
一般小売店 [珈琲] （経営者）	・円安に伴う、輸入品の仕入れコスト上昇が予想される。
一般小売店 [衣服] （経営者）	・数か月先になれば夏物衣料の動きは増えるが、最近の販売量の減少を考えると楽観視はできない。さらに、客の様子からは、以前ほどの購買意欲が感じられない。
一般小売店 [花]（店員）	・卒業や入学、退職シーズンが終われば、販売量が落ちる。
百貨店（販促担当）	・衣料品の弱い状況は今後も続く。雑貨については堅調に推移するものの、政治不安などで高額品の動きが懸念される。米国の情勢などの影響で、株価が低下傾向になれば、上得意客に買い控えが発生する恐れもある。来客数は比較的堅調なため、購入につながる提案ができるかどうかが重要である。
スーパー（店長）	・高齢化と人口減少が進んでいる地域のため、悪化傾向が続く。
スーパー（店長）	・賃上げのペースが社会保険料の増加に追い付かず、中間所得層の実質収入が大きく減っているため、先行き不安による買い控えが進む。

	スーパー（企画担当）	・当社の商圈内に、ホームセンター併設の食品スーパーが 出店する。近隣店舗は影響を受けるので、価格面での対応が余 儀なくされる。こだわりの商品や産地直送品、プライベート ブランド商品などで訴求を行い、いかに利益の出る商品の販 売点数を上げるかが重要となる。
	乗用車販売店（経営者）	・2～3月にかなりの車が売れたため、今のところは新車の 販売や車検の数が少なくなっている。
	乗用車販売店（経営者）	・国会の混乱や、米国と中国の貿易戦争を中心とした世界経 済の不安要素などで、しばらくは株価も低迷し、景気は良く ならない。ゴールデンウィークで国内消費がどれだけ盛り上 がるかが、今年後半の景気を占う。
	住関連専門店（店長）	・客の様子によると、衣食住のうち、衣料品と食品には金を かけても、住関連にはかけない。そこまで金が回らないとい う世間の傾向であり、住宅やインテリアの分野は、消費の優 先順位がどんどん下がっている。
	その他小売【インター ネット通販】（経営 者）	・このままの状態では、来客数が増えない。若い母親たちが 商店街に行きたくなくなるような仕掛けが必要である。
	一般レストラン（経営者）	・季節要因によるプラスはなく、個人的な利用が中心とな り、大口客が来店する見込みは薄い。今後は、獲得した新規 の客を、いかに固定客にするかを検討していく。対策を実践 する時期であるが、結果が出るのは2～3か月後となる。
	一般レストラン（経営者）	・食料品などの生活関連の値上げが相次ぎ、財布のひもがよ り一層固くなりつつある。
	一般レストラン（店員）	・春休みということもあって家族連れが多かったが、暑くな るにつれて外食する機会が激減する。
	観光型旅館（管理担 当）	・国有地売却関連や獣医学部新設問題に加えて、財務省のセ クハラ問題が浮上し、政府への信頼が失墜、政権への不信感 が募っている。また、首相による訪米にも期待したほどの成 果が感じられず、経済の先行きが不安視される。
	住宅販売会社（従業 員）	・新築マンションの売行きが徐々に悪くなってきており、今 後は更に悪くなると予想される。
	その他住宅投資の動向 を把握できる者【不動 産仲介】（経営者）	・不動産価格が下がりつつあるほか、金利の上昇で市況が少 し悪くなる可能性がある。景気全体に影響するかどうかは不 透明である。
	x 衣料品専門店（経営 者）	・高額商品が売れない。消費者は高額な服を買わず、安い服 で済まそうとしている。
企業 動向 関連  (近畿)	経営コンサルタント	・人手不足であり、人材の能力向上の必要性などが強く求め られているため、コンサルタントや人材の採用、育成関連の 仕事はますます忙しくなり、価格も上がっていく。
	食料品製造業（営業担 当）	・気温の上昇や、ゴールデンウィークでの消費の増加に伴っ て、飲料水の販売は増えてくる。
	木材木製品製造業（経 営者）	・既存の事業の改善を図りながら、新規の事業を進めている ため、両方の成果が出始めれば良くなる。
	プラスチック製品製造 業（経営者）	・しばらくは、納期がかなり先の案件への対応が続く。2～ 3か月先には、現状の反動で短納期の案件が増え、納期管理 に追われる状況に変化する。
	一般機械器具製造業 （経営者）	・現在交渉中の案件が順調に進んでいるため、ここ数か月は 良い業績が続く。
	電気機械器具製造業 （経営者）	・北朝鮮情勢などで、4月までは国際政治がいつ破綻しても 不思議ではなく、先の景気が全く読めなかったが、当面は心 配ないことがはっきりしてきた。ただし、世界情勢はまだ薄 氷を踏むようなものであり、楽観はできない。
	食料品製造業（従業 員）	・同業者の廃業の影響もあり、数か月は今の状況が続く見込 みであるが、流れが大きく変わる可能性もあるので、楽観は できない。
	繊維工業（総務担当）	・流通業を経由した販売が難しいなかで、地方の小売店や催 事への販売ルートの変更がますます加速する。売れるチャン スは広がってきたが、出張要員の確保が難しく、困ってい る。
	家具及び木材木製品製 造業（営業担当）	・特に変化があるとは思えない。
	パルプ・紙・紙加工品 製造業（経営者）	・影響を受けそうな要素が多いため、正確には分からない。
	出版・印刷・同関連産 業（営業担当）	・例年に比べて、販売量、受注量共に減る見込みとなってい る。一部の客では受注量が増えているが、それほど期待はも てない。3か月先も不安定な状態が続く。
	化学工業（経営者）	・前年に比べて動きはかなり良くなったが、徐々に沈静化し ており、更に良くなる期待は薄い。景気がいきなり悪化する とも思えないが、人手不足や人件費の高騰で経営は厳しくな ると予想されるため、不安は大きい。

化学工業（管理担当）	・現在は出荷量が好調であり、取引先の3か月予想でも、好調な状態が続くとの情報を得ている。ただし、原材料の値上げが続いているため、客に対する値上げ交渉がうまくいかなければ、利益が減少する。
窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏のボーナスが多く出るような企業は景気の回復が実感できるが、中小企業ではボーナスが出るかどうかという状況であり、景気は悪い。
金属製品製造業（経営者）	・3～4月の動きは年度替わりの在庫調整に伴うものであり、一過性の現象である。
一般機械器具製造業（設計担当）	・物価の上昇に収入が追いつかないので、消費が控えられそうである。
電気機械器具製造業（営業担当）	・同業者も似たような状況である。
電気機械器具製造業（宣伝担当）	・サッカーワールドカップが開催されるが、テレビやレコーダーの需要を大きく伸ばす要因にはならない。その他にも、景気が変動する要因が思い当たらない。
その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・受注量が増えるような要因もないため、変わらない。
その他製造業〔履物〕（団体職員）	・百貨店の売上が前年比でプラスに転じているが、その要因はインバウンド効果と一部の富裕層による高額商品の購入である。当業界では、依然として苦戦が続いている。
建設業（経営者）	・現状の受注状況が続く予定であり、大きくは変わらない。
建設業（経営者）	・新年度に入り、民間企業からの工事の受注はやや低調である。東京一極集中がいつまで続くのかは分からないが、地方の建設業界は先行き不透明である。官庁関係の激しい価格競争も相変わらずである。
輸送業（営業担当）	・今年は数社の運送会社が値上げしたため、当社への新規配送依頼が数件きているが、人手不足で受けられず、断っている状況である。
輸送業（営業担当）	・閑散期に入るが、期待できるイベントもない。
通信業（管理担当）	・北朝鮮情勢の改善による影響が出ればよいが、不透明である。
金融業（副支店長）	・今後の受注見込みについて、増えるといった話が聞かれない。
金融業〔投資運用業〕（代表）	・政治が混乱し過ぎている。与野党の議論や、次期総裁候補の話題にも光明が見いだせない。
不動産業（営業担当）	・神戸からの企業の撤退はまだまだ続くことから、景気は横ばいで推移する。
新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込件数が減少しているほか、購読の中止も、他紙に変更するのではなく、新聞を読まなくなる読者が増えている。
広告代理店（企画担当）	・世界経済の成長が鈍化してきたことで、国内景気の改善への期待も薄れているを感じる。
広告代理店（営業担当）	・売上の前年比は、今年に入って100%をやや下回る状態が続いている。
司法書士	・不動産の売買が増えているといううわさは聞くが、実感として不動産の動きは余りないため、しばらくは現在の状況が続く。
その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・休みの日が多く、営業日数が少ない。
その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・米朝首脳会談後の朝鮮半島情勢のほか、政治の混乱による政権支持率の低下など、どちらも今後の国内情勢を占う重要な問題が多く、しっかりと見守りたい。
その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・今後の予算の見積金額も、前年や数か月前と比べて余り増えていないので、変わらない。
食料品製造業（経理担当）	・配送コストを始め、食品や原材料価格の値上がり影響している。
繊維工業（総務担当）	・特別な機能の靴下には、今後期待できる部分もあるが、一般の靴下は先行きの悪化が予想される。
繊維工業（団体職員）	・これといった要因は不明であるが、法人需要などが低迷している。
化学工業（企画担当）	・ゴールデンウィークで一時的に食品需要は増加するが、その後は梅雨のほか、夏季の需要低迷期に入る。
電気機械器具製造業（営業担当）	・少し引き合いが減っている。
輸送用機械器具製造業（経理担当）	・引き合い件数が減少傾向にある。
建設業（経営者）	・客単価が上がらない状況であり、値上げに踏み切れない。人件費、資材等の上昇が利益を圧迫しており、このままでは値上げせざるを得ない。
輸送業（商品管理担当）	・3～4月の引っ越しシーズンが終わり、荷物量は落ち着いているが、来月には母の日がある。

		金融業（営業担当）	・競合先の動向を注視しているが、余り深追いすると共倒れになりそうである。
		広告代理店（営業担当）	・今期は、広告出稿の予算がかなり絞られる企業が多いと感じる。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・補助金頼みの部分もあり、製品開発が遅れている。そのため、販売を開始する頃には、環境に合わない製品となる可能性がある。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・鋼材やその他のコストが上昇傾向にあるが、ユーザーの理解が得られず、価格転嫁に苦労している。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・景気回復策が見込めない。政治や世界情勢も流動的であり、先行きが見通せない。
雇用 関連  (近畿)		人材派遣会社（支店長）	・年度明けでこの状況であるため、しばらくは良い動きが続く。
		人材派遣会社（役員）	・労働契約法の改正から5年が経過したほか、2015年9月の改正労働者派遣法から3年の期限が近づいているため、派遣労働者の無期雇用への転換や、企業による直接雇用の動きが更に進む。これが、景気の引上げに寄与することが予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・新入社員が入社して3か月が経過した頃であり、定着度によっては人材派遣の依頼が出てくる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・サッカーワールドカップに向けた機運の高まりに期待したい。
		職業安定所（職員）	・近畿の新規求人を産業別にみると、これまで増加をけん引してきた電子部品関連や情報通信関連には一服感がみられる一方、建設関連が増加している。都市部を中心に、引き続きホテルやマンションの建設が好調なほか、公共事業関係の求人が増加しているとの声が聞かれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・給与などが上昇し、景気の改善につながる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用意欲が高くなっており、期待どおりに仕事の増える可能性がある。
		人材派遣会社（経営者）	・今の力強い回復傾向は、よほどの変化がない限り続いていく。少し心配しているのは、派遣会社には追い風であるが、派遣先企業が闇雲に人を採っている点である。
		人材派遣会社（営業担当）	・特に大きな動きはなく、現状のまま、やや良い状態が続くそうである。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・新聞求人には、この先の景気の方角性を示すような動きはみられない。米国の保護主義的な経済政策や、北朝鮮と米国、韓国との首脳会談といった外的要因が、景気の方角性を決める。
		職業安定所（職員）	・今後も、現在の傾向は変わりそうにない。
		職業安定所（職員）	・企業の業績は好調との声が多く、製造業では受注が増え、サービス業では人手不足が続いている。ただし、ハローワークでの求人の賃金は上昇していない。賃金が増えなければ消費には回らない。
		民間職業紹介機関（職員）	・例年、建設関連の日雇求人は、公共工事が動き出す7月中旬頃までは大幅に減少する。今年もその傾向は変わらず、前年度並みの落ち込みが予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新しい動きも特になく、しばらくこの状態が続くそうである。
		アウトソーシング企業（管理担当）	・今入っている仕事が落ち着いてくる予定であり、やや悪くなる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数が一旦落ち着き、減少する。今後も人手不足の状況が続くなかで、景気は夏に向けてやや悪くなる。
		×	-